

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

試験		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	30	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	5	0	0	35
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	5	0	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習・実技を行った授業回（#6-11）で、心理検査を施行したまとめを個人でレポートとして提出する。一定の基準に満たないレポートは再提出を求める。				添削コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	実習・実技を行った授業回（#12-14）で、提示された模擬事例の心理検査の結果を報告書として、グループで仕上げてもらおう。提出されたレポートに基づき、グループごとに評価・加点を行う。				添削コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	本科目の担当講師は、臨床心理士及び公認心理師資格を有し、20年の心理相談・査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	医療分野を主とした現場経験を活かして、心理的アセスメント（心理査定）の意義を学生に教授する。						
そ の 他	本授業は演習・実習・実技の積み重ねで成立する。欠席するとその回に相当するレポート提出権を失う。原則、全ての授業に参加して単位認定が得られる方針であることを、十分に納得して履修登録を行うこと。また、登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。						